

様式1

令和7年度 年度事業評価書

評価対象期間	令和7年4月～令和8年3月分
施設名	鹿野そば道場
指定管理者名	株式会社ふるさと鹿野
指定管理期間	令和6年4月～令和11年3月
施設所管課名	農林水産部農政企画課

1. 事業評価

確認する内容		指定管理者	施設所管課		
		自己評価	評価	確認方法	備考
Ⅰ. 公共サービスの実施状況					
1	仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	書類・聞取り	
2	基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書類・聞取り	
3	業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	書類・聞取り	
4	平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞取り	
5	利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書類	
6	減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	聞取り	
7	地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	3	3	書類・聞取り	
8	満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	聞取り	
9	利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞取り	
10	利用者拡大のための改善・努力がなされているか	3	3	書類・聞取り	
Ⅱ. 施設の維持管理の実施状況					
11	清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書類	
12	備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	書類	
13	消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	書類	
14	再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞取り	
15	点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞取り	
Ⅲ. 施設の経営状況					
16	事業収支は妥当であるか	3	3	書類・聞取り	
17	施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	書類・聞取り	
Ⅳ. 法令等の遵守状況					
18	個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	現地確認	
19	市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	なし	なし	書類・聞取り	
20	労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	書類・聞取り	
21	設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書類、現地確認	

確認する内容		指定管理者	施設所管課		
		自己評価	評価	確認方法	備考
V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞取り	
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	聞取り	
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	書類	
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か	3	3	書類・聞取り	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書類・聞取り	

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	核となる施設の山紫苑は 宿泊休憩とも計画人数には届かなかったが、冬場のカーブランが好調であったことに加え外訪セールスの効果もあり、じゃらん・楽天などOTAのお得なプランの積極的な参画なども功を奏し、10年ぶりの黒字となった。一方温泉館は大幅な利用者減少により赤字計上となった。年度当初の料金値上げにより4、5月は想定内の減少幅であったが、その後9月頃まで猛暑が続いたことも影響し減少に拍車がかかった。2月のサウナ工事による2週間の休業も影響が大きく、11月のいい風呂の日チケット販売取りやめは売り上げにも影響した。そば道場はスタッフの入れ替わり時期と重なり体験利用が多少減少したが、食堂利用は増加した。11月にメニューのリニューアルに併せて値上げしたことにより食事売上が増加し売り上げに貢献した。おもしろ市場は出荷者の減少に伴い商品不足が常態化し、利用者が大幅に減少したこと売り上げが減少、5年連続赤字計上となった。そば処もインスタ発信などPRIにも努めたが利用者が減少しこちらも5年連続赤字計上となった。加工所はそばやとち餅など餅類の販売に努めたが前年度並みの売り上げに留まり、経費出費に於いて機械の修繕や降雪による除雪費の増加、製造に係る人件費の増加などにより前年度に続き赤字計上となった。切花は普段の月はマイナスであるが8月9月3月の盆や彼岸で利益を出し、特に3月の彼岸で最終利益を確保する形となっている。農業は売り上げが交付金の増加や特にコメの高騰により前年度より719万円増加したこと、猛暑で夏野菜は計画通りにはいかなかったが、そばの生産は前年度より数量売上とも増加したこと大幅な黒字計上となった。交流館はONSEN ガストロノミーウォーキングやレトロ展、和紙の華展などイベントや展示が好評で多くの利用者あった。全体を通し赤字続きの山紫苑が黒字に転換し、そば道場はじめ農業の安定した黒字経営、特に農業の黒字拡大により、赤字部門をカバーし最終利益を確保することができた。一方で、想定外の赤字となった温泉館、おもしろ市場の赤字が拡大するなど早急な課題解決が必要となっている。
施設所管課	メニューリニューアル等の工夫を凝らし、食料・売店売り上げが好調であったことは評価できる。食堂利用は安定した経営が今後も期待されるため、体験利用者の確保にも併せて努めていただきたい。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	食堂の営業については昨年度よりも多くのお客様の利用をいただいた。物価高の影響で昨年11月よりメニュー価格の値上げを実施したことから、当初は利用者が減ることも懸念されましたが、昨年以上のご利用をいただけたことからお客様には社会的な状況からの値上げを受け入れていただけたものと考えている。また、ここ数年来課題になっております蕎麦の在庫過多問題解決のために、蕎麦加工商品の製造販売にも会社全体で力を入れており、加工所部門を中心にそば道場においても加工所部門の指示のもと、商品製造委託先企業へ蕎麦の磨きや石抜きを済ませたものを出荷するなど問題解決に向けて取り組んだ。その他にも11月に開催されたONSENガストロノミーにおいても、地元の生薑を使った鹿野生薑蕎麦を提供し多くの参加者の方に鹿野の新しいそばの食べかたをPRすることが出来た。
施設所管課	問題解決に向け改善策を講じられたことや、イベント等を通じ積極的にそばの魅力を打ち出していく取り組みは一定の評価ができるものとする。今後も機会を捉え各種イベントに参加いただき、鹿野そばを鹿野町内・鳥取市内のみならず県内外へと発信いただくことを期待したい。

4. 総括コメント

指定管理者	今年度は利用人数が昨年より累計で500人程度増え、これに伴い利益についても確保することができた。懸念事項の蕎麦の収穫量の増加に伴い在庫過多になっている玄蕎麦の在庫についても、解消に向けて食堂利用のさらなる促進と蕎麦加工商品の製造と販路拡大のために加工所部門と連携して取り組んでいる。また、体験利用については、指導員不足により受け入れ人数の制限をしなければならない状況もあり、人員確保にむけて取り組んでいる。
施設所管課	長年培ってきた鹿野そばというブランドは既に一定の評価を得ており、かつピーターも多いものと考えられる。各種課題解決に取り組む中で、これらの価値が更に引き上げられることを期待したい。

※記入について

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている
確認方法 (施設所管課のみ)		書類確認、聞き取り、現地(館内)確認、実態確認等
備考		評価区分が3以外である理由、指定管理者と施設所管課で評価区分が異なる理由、その他の特記事項

令和7年度指定管理業務年間実施計画・実施状況表

1. 設備等点検業務

2. 清掃等業務

3. 利用者満足度調査

4. 危機管理

5. 事業報告等

6. 事業・イベント等

[illegible]

【資料2】

施設名	鹿野そば道場
-----	--------

1. 施設利用者数

単位(人)

項目	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	計画	実績	計画	実績						
利用者数	21,600	21,308	22,000	21,826						

2. 事業収支

項目	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	計画	実績	計画	実績						
食事料	20,200,000	22,484,895	22,600,000	24,221,178						
酒類及び飲料	203,000	200,046	203,000	182,692						
売店売上	4,602,000	7,079,569	5,100,000	5,063,930						
利用料	2,000,000	1,272,944	1,185,000	1,180,373						
その他売上										
雑収入		129,767		9,893						
受託料				63,295						
収入計(A)	27,005,000	31,167,221	29,088,000	30,721,361						

支出計(B)	24,045,000	28,850,248	26,851,000	29,151,051						
--------	------------	------------	------------	------------	--	--	--	--	--	--

事業収支(A-B)	2,960,000	2,316,973	2,237,000	1,570,310						
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	--	--	--	--	--	--